

埼玉に初の単独展示場

「体感すまいパーク東浦和」開設

ポラスグループ

ポラス（埼玉県越谷市、中内晃次郎代表）グループは、同社単独の注文住宅展示場「体感すまいパーク東浦和」（さいたま市南区）を公開した。1月3日にオープンし、1〜2月の2カ月で550組が来場。2018年開設の「同船橋」「同柏」に次ぐ3拠点目で、埼玉県内では初出展となる。

同東浦和の総敷地面積は約1274平方メートルで、グループの注文4ブランドのモデルハウスを建設。4ブランドはPOHAUS、北辰工務店、Hascasa、GRANNS EIT（鉄骨造の賃貸併

ある東部地区におけるすまいパーク建設を決定。来年度には荒川の西部に出展計画を立てている。

同東浦和の総敷地面積は約1274平方メートルで、グループの注文4ブランドのモデルハウスを建設。4ブランドはPOHAUS、北辰工務店、Hascasa、GRANNS EIT（鉄骨造の賃貸併



船橋、柏に次ぐ3拠点目で、4種の注文ブランドが入る

ら見ると、おおむね好調」（同社）と見る。コロナ禍において戸建て分譲事業は絶対調だが、注文住宅事業も20年度の契約は前期比17%増。「小中程度の受注の波が長期間にわた

り押し寄せている」（同）。同エリアは都内へのアクセスもよく、20〜40代の1次取得者が多く来場。「若い人は予算に限りがあり、そのなかで遊び心を持って楽しい家づく

りがしたいと要望の多い人が多い」（同）。現在も住宅会社が集まった総合住宅展示場（総展）が主流だが、同グループは「あえて単独展示場でチャレン

りが多い。メリットを挙げれば切りがない」（同）と断言。単独だと顧客が他社情報に惑わされず、他社の住宅に目移りすることなく検討できる。総展にある入居期限もない。

土地からの購入では予算が足りない来場者にも、グループの戸建て分譲販売に連携できる。同所には宅建業免許取得者をそろえ、顧客への土地提案も積極化していく。